

交通バリアフリー推進ネットワークメールマガジン登録団体 各位

交通バリアフリー推進ネットワークメールマガジンをお送りしますので、ご覧ください。

なお、配信方法をE-mailに転換していきたいと思っておりますので、info@ecomoo.or.jpまでお知らせ頂ければと思います。

また、配信の停止等に関しても、info@ecomoo.or.jpもしくはFAX（03-3221-6674）までお知らせ頂ければと思います。

交通バリアフリー推進ネットワークメールマガジン VOL. 70

2008年9月30日

目次

▼「エコモ」からのお知らせ

■らくらくおでかけネット

■高齢者・障害者等の公共交通機関不便さデータベース

■バリアフリー学習図鑑「みんなで考えるバリアフリー」の公開

■小中学生の総合学習、修学旅行等の受け入れのご案内

▼「行政」からのお知らせ

■【国土交通省】交通バリアフリー法、バリアフリー新法移動円滑化基本構想策定状況

▼ニュース

▼各種催し物のお知らせ

▼コラム

▼その他

▼エコモからのお知らせ

■らくらくおでかけネット

現在は、鉄道駅 4,072 駅、空港 85、バス 158、旅客船 411 ターミナルの情報を提供しています。最近の1日のアクセス件数は、約 3,000 件です。

リンクご希望の方はご連絡ください。

(パソコン版)<http://www.ecomoo-rakuraku.jp/rakuraku/index/> (携帯版)<http://www.ecomoo-rakuraku.jp/rakuraku/mobile/>

■高齢者・障害者等の公共交通機関不便さデータベース

平成5年10月から平成18年3月までに各関係機関で実施された、障害者や高齢者等の駅、公共交通機関の利用状況についてまとめた調査報告書の内容を整理し、駅や交通機関(鉄道・バス)の利用者が実際に感じている不便さや利便さ等の意見を抽出し、データベース化いたしました。

詳細はこちらから → http://www.ecomoo.or.jp/barrier_free/fubensa/index.html

■バリアフリー学習図鑑「みんなで考えるバリアフリー」の公開

「みんなで考える交通バリアフリー」は、遊びながら交通バリアフリーの基礎知識について学ぶことができるように作られています。また、音声読み上げソフトにも対応していますので、音声だけでも学ぶことができます。学校の教材として、個人の学習資料としてご活用ください。

詳細はこちらから → http://www.ecomoo.or.jp/barrierfree/minnabf/minnabf_top.html

■小中学生の総合学習、修学旅行等の受け入れのご案内

当財団では、小中学生の皆さんの総合学習や修学旅行の受け入れを行っています。講習内容は、「バリアフリーやユニバーサルデザインの歴史」、「バリアフリー新法について」、「バリアフリーの現状」などです。また、車いす体験や高齢者疑似体験等、ご希望に沿った内容で実施しています。詳細につきましては、お問い合わせください。

詳細は → http://www.ecomoo.or.jp/barrierfree/excursion/excursion_top.html

▼行政からのお知らせ

- 【国土交通省】交通バリアフリー法、バリアフリー新法移動円滑化基本構想策定状況（平成20年7月まで）
基本構想を作成済みの市区町村 251 市町村(314 基本構想)
※5000人以上の旅客施設が所在しない市町村の基本構想も件数に含む。
詳細は→ <http://www.mlit.go.jp/barrierfree/transport-bf/basicplan/jurijoukyou2007.pdf>

▼ニュース

(業界紙面より)

□JR 西日本 姫新・播但線の高架切り替え（交通新聞8/13付）

JR 西日本は11日、姫路駅付近連続立体交差事業のうち、姫新線および播但線の高架切り替えを今年12月22日に行うと発表した。既に山陽線は一昨年3月に高架化を完了。これにより同駅周辺の高架化工事がすべて完成する。(中略)高架完成に合わせ、南北を結ぶコンコースが通行可能となる。東改札口を新設、中央改札口(現南中央改札口)も増設する。既存の中央改札口、東改札口、地下改札口、東駅ビル口は廃止される。

□10月16日オープン JR 北海道「JR イン札幌」初の宿泊特化型に（交通新聞8/14付）

JR 北海道は12日、札幌駅西口に建設を進めていたホテル「JR イン札幌」のオープン日を10月16日にする、と発表した。ホテルは鉄骨造り10階建て、延べ床面積4474平方メートル。1階フロントとロビーを配置、2階以上が客室で、シングル171、ダブル9、ツイン8、ユニバーサル1の計189室。

□IC カード乗車券 総合試験場を公開 JR 九州（交通新聞8/14付）

JR 九州は8日、来春使用開始するICカード乗車券「SUGOCA」の総合試験場(福岡市東区)を報道公開した。試験場には、5駅を想定した自動改札機や自動券売機を設置。各機器の処理やデータ通信が正常に行われているかを確認する。試験は、11月まで利用パターンを想定した約2万通りを検証。その後、当初導入する124駅で現在の自動改札機や券売機をIC対応していく。

□混雑率、着実に緩和へ（交通新聞8/15付）

大手民鉄の朝のラッシュ時間帯の混雑率が多く路線で150%前後で安定し、「車内で楽に新聞が読める」状態となっている。関東の一部や関西などではそれよりさらに低い130%台の路線も出ており、列車の増発などの通勤混雑の緩和策が終了しているが、一方で関東の一部に200%近い路線も残り、近年目立ってきた混雑の二極化の傾向は依然続いている。

□バス待ちを快適に 位置を携帯メール配信（交通新聞8/18付）

路線バスを中心に、最寄りのバス停留所への接近や予定到着時刻を携帯電話のメールで知らせるサービスを、東京の交通系情報システム開発会社と自家用自動車管理会社が共同で事業化した。「バスキャッチ」と名付けたサービスは、カーナビゲーションでおなじみのGPSをバスの位置情報取得に利用することで、情報精度を上げるとともに、無線を使用する従来型のバスロケーションシステムに比べ導入経費を抑えたのが特徴。地方都市のバス事業者はマイカー普及で軒並み厳しい経営環境に置かれており、最小限のコストでサービスアップを図れる利用促進につながるシステムは朗報となりそうだ。

□JR 川越線日進駅 駅改良工事が本格化 橋上化し南北通路新設（交通新聞8/19付）

JR 川越線日進駅に新設される南北自由通路と橋上駅舎の関連工事が近く本格化する。計画では、本年度中に仮駅舎の使用を開始した上で、南北自由通路、駅舎橋上化工事に着手する。工期は約3年間を予定している。(中略)南北自由通路は、通路幅約5.5メートル、延長約34メートル。エレベーター、エスカレーター(いずれも2基)、トイレ設置。橋上駅舎は、鉄骨造り2階建て、高さ13.65メートル。駅事務室のほか、上下線ホーム(相対式)に通じるエレベーター、エスカレーター(いずれも2基)とトイレを設ける。

□渋滞避けて都心へ 高速バス→鉄道 乗継実証実験（交通新聞8/21付）

茨城方面から東京都心へ向かう4ルートの上り高速バス路線を対象に、首都高速道路上のパーキングエリア(PA)で下車して近接する駅から鉄道へ乗り継ぎ、渋滞を回避して都心へ向かう選択肢を利用者に提供する新たな交通施策の実証実験が6月中旬から行われている。渋滞による延着という高速バスの弱点を、時間に正確な鉄道の強みでカバーし、定時性の向上で公共交通機関の利用促進につなげる狙い。1日当たりの平均利用者数は6月の約50人から8月の約240人へ増加するなど出だしは順調だ。

□JR 大分駅周辺連続立体交差事業 一部高架切り替え完了 (交通新聞 8/26 付)

大分県、大分市、JR 九州が進める大分駅周辺連続立体交差事業に伴う一部高架切り替えが完了し、24 日から使用開始された。また同日、同駅南側新駅舎も営業を開始した。同事業は、同駅周辺の日豊線 3.6 キロ、九大線 1.9 キロを高架化し、踏切 13 ヶ所を除去。高架駅となる同駅はホーム 4 面 8 線とコンコースを結ぶエレベーター 4 基、エスカレーター 2 基を備える。

□京阪、全面ダイヤ改正 10 月 19 日中之島線開業に合わせ (交通新聞 8/27 付)

京阪電気鉄道は 25 日、京阪線・鴨東線、中之島線、交野線、宇治線の各線で 10 月 19 日にダイヤ改正を実施すると発表した。中之島線(天満橋～中之島、3 キロ)の開業に合わせて、同線と京阪線で直通運転を行うほか、京阪線特急の運転時間を拡大するなど、抜本的にダイヤを見直す。同社の全面ダイヤ改正は 2003 年(平成 5 年)9 月以来 5 年ぶり。

□環状線ホーム禁煙 JR 西日本、10 月 1 日から (交通新聞 8/29 付)

JR 西日本は 27 日、大阪環状線と JR ゆめ咲線(桜島線)のホームを 10 月 1 日から全面禁煙にすると発表した。同社は 2003 年(平成 15 年)の健康増進法施行を受け、コンコースの全面禁煙やホームの喫煙コーナーを設置するなど分煙対策を進めてきた。

□UD 化など着実に進む 国土交通省、政策目標の進捗状況 (交通新聞 9/1 付)

国土交通省は来年度予算の概算要求提出(8月 29 日)に合わせ、主な政策目標の今年 3 月時点での進捗状況をまとめ、「政策チェックアップ結果」として公表した。交通、地域活力、安全・安心といった 13 項目を取り上げ、政策の実現度を 200 件を越す数値で数値化。交通関係では、障がい者や高齢者も利用しやすいユニバーサルデザイン(UD)の駅施設が初めて整備対象の 6 割を超えた(中略)。

□JR 函館線野幌駅付近 高架化工事に本格着手 (交通新聞 9/2 付)

JR 函館線野幌駅付近(江別市)の鉄道高架化工事が着工され、安全祈願祭が 8 月 29 日、現地で行われた。高架駅となる新駅舎は来年度着工し、2010 年度(平成 22 年度)から営業開始の予定。同工事は、2006 年度から始まった北海道による野幌駅付近連続立体交差事業の一環。JR 北海道が行う鉄道高架は延長 2.4 キロで踏切 2 ヶ所が廃止される。

□国交省 実用化へ評価委初会合 自律移動支援プロジェクト (交通新聞 9/8 付)

国土交通省はコンピューターネットワークを活用して交通や観光、防災などに関する情報を携帯端末に提供する「自律移動支援プロジェクト」の実用化にむけた取り組みを加速する。同省は、有識者やユーザー代表でつくるプロジェクト評価委員会を立ち上げ、このほど本省で初会合を開催した。5 年前のスタート以来、全国のモデル地区で取り組んできた社会実験の成果や今後に向けた課題を評価委の場で集約・協議し、来年度以降の本格サービス開始につなげる。

(各社ホームページ)

□東海道本線 鷲津駅エレベーター等使用開始について (JR 東海 HP より 9/9 付)

東海道本線鷲津駅(静岡県 湖西市 鷲津)において平成 19 年よりエレベーター等の整備を進めてまいりましたが、工事の完了に伴い、バリアフリー化された駅として、平成 20 年 9 月 12 日(金)始発列車より使用開始と致します。

詳細 → <http://jr-central.co.jp/news/release/nws000178.html>

□10 月 1 日から、朝夕ラッシュ時間帯における駅構内での「全面禁煙」を実施します (神戸電鉄 HP より 9/3 付)

現在、当社線の各駅(地下駅で「全面禁煙」の湊川駅を除く)では、「終日禁煙」とし、喫煙コーナーを設けた「分煙」方式を採用しております。しかしながら、受動喫煙防止対策に関するお客様からのご要望や「兵庫県受動喫煙防止対策指針」により、平成 22 年度までの交通機関における全面禁煙の実施が示されていることを受け、本年 10 月 1 日以降、朝夕ラッシュ時間帯における全駅での「全面禁煙」を実施いたします。

詳細 → <http://www.shintetsu.co.jp/release/2008/080903.pdf>

□可動式ホーム柵の設置工事期間と使用開始について (札幌市交通局 HP より 9/3 付)

東西線では、ホームからの転落や列車との接触事故を防止するため、可動式ホーム柵を新さっぽろ駅から設置し、準備が整った駅から順次使用を開始します。(新さっぽろ駅 9 月 17 日使用開始、以降順次)

詳細 → http://www.city.sapporo.jp/st/homusaku/kadoshiki_homusaku_kaishi3.pdf

□バス停留所の新設について（仲町会館入口）（東京都交通局 HP より 9/19 付）

都営バスでは、平成20年9月29日（月）より「仲町会館入口」（船堀駅前・一ノ江橋西詰方向のみ）停留所を新設します。

詳細 → http://www.kotsu.metro.tokyo.jp/newsevent/news/bus/2008/bus_i_200809191_h.html

□熊本都市圏公共交通機関利用促進キャンペーンの実施について（熊本市交通局 HP より 9/12 付）

熊本都市圏の交通渋滞の緩和や環境問題への対応などマイカーから公共交通機関への交通手段シフトを図るために利用促進の啓発を行うもの。期間は9/20（土）～10/19（日）までの期間。

詳細 → http://www.kotsu-kumamoto.jp/Content/asp/topics/topics_detail.asp?PageID=3&ID=143&pg=1&sort=0

▼各種催し物のお知らせ

□福祉交通セミナー 2008 <http://www2.city.suginami.tokyo.jp/event/event.asp?event=9321>

日時:10月3日～4日 / 場所:セシオン杉並

主催:日本福祉のまちづくり学会福祉交通サービス特別研究委員会 / 土木学会福祉の交通・地域計画研究小委員会

テーマ:公共交通とまちづくり、地域交通の活性化に向けて、地域交通計画の制度と考え方、地域に適した交通システムの組み立て方、UDタクシー普及に向けた取組みと課題 等

□REHACARE International 2008 <http://www.rehacare.de>

日時:10月15日～18日 / 場所:デュッセルドルフ見本市会場

□いきいき福祉2008 <http://www.fukushi.com/jyoho/06seminar/detail.php?no=156>

日時:10月17日～19日 / 場所:札幌市白石区流通センター4丁目3番55号

主催:いきいき福祉2008実行委員会

内容:2009年9月に行われる「ねんりんピック北海道・札幌大会」の応援をするために、昨年からは毎年行っている。

□サイトワールド2008 <http://www.sight-world.com/brief.htm>

日時:11月2日～4日 / 場所:すみだ産業会館 サンライズホール

主催:社会福祉法人日本盲人委員会

内容:国内、海外の視覚障害者用最先端機器、日常生活用品などを多数展示 等

□P. P. C. 2008 第10回 西日本国際福祉機器展 <http://convention-a.jp/fukushi/>

日時:11月28日～30日 / 場所:西日本総合展示場・新館（北九州小倉北区浅野3-8-1）

主催:西日本国際福祉機器展実行委員会 / 財団法人西日本産業貿易コンベンション協会

内容:九州経済産業局、福岡県、北九州市など行政機関や関係団体で実行委員会を組織し、地域の福祉施策とも連動したパブリックな展示会 等

▼コラム

北京パラリンピックが、9月6日から17日までの期間で開催された。日本は、金メダル5個、銀メダル14個、銅メダル8個の計27個（前回アテネ52個）を獲得した。メダルの獲得が一番多かったのが、開催地の中国で合計211個（うち金メダル89個）と他国を圧倒した。ある新聞記事に、障害者スポーツのプロ化や支援体制の充実をしてきている他国に比べ、日本は支援体制などが遅れていることがメダル獲得に影響しているのではないかと指摘されていた。

たしかにオリンピックであろうともパラリンピックであろうとも、日の丸を背負い一流アスリートが活躍する姿は、私たちに感動を与えてくれる。さらなる障害者のスポーツ環境についての支援体制の充実を期待したいと思う。

▼その他

記事募集中！！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。バリアフリーに関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。

----- 【INFORMATION】 -----

○記事募集中！！ : info@ecomoo.or.jp

○配信先変更・停止、ご意見・ご感想 : info@ecomoo.or.jp

○交通バリアフリー推進ネットワークマガジンはバリアフリー推進ネットワークの著作物です。転送・転機する場合は、必ず事前にご連絡ください。 : info@ecomoo.or.jp



バリアフリー推進ネットワーク事務局(交通エコロジー・モビリティ財団)

E-mail: : info@ecomoo.or.jp

URL : http://www.ecomoo.or.jp/barrierfree/mailmagazine/mailmagazine_top.html

